

[chiba_37]

| | |
|--------|----------------|
| 活動タイトル | 第18回環境科学展 |
| 実施日 | 2024年9月7日(土) |
| 場所 | 札幌市青少年科学館(札幌市) |
| 対象数 | 1,327人 |

内容

コロナの蔓延や科学館施設の展示物大規模リニューアル及び施設の長寿命化の工事のため、科学館では4年ぶりの開催となりました。

いつものように所属するNPOでの子ども向けの体験プログラム。ペルチェ素子を使い手のひらと氷を使った温度差発電体験を子どもを中心に体験してもらいました。ペルチェ素子は直流電気を流すと片方熱くなり、片方が冷えると言うもので主にノートパソコンのCPU冷却装置などに使われる半導体です。目に見える形で使われないため、同伴される保護者の方にも馴染みのない電子部品でした。

しかし、ここ数年猛暑日が増えているため、ペルチェ素子の冷却効果を使ったネックファンやハンディファンが売られようになりました。ネックファンなど実物の冷却プレートに触ってもらうことにより、“なんだかわからない未知の発電できる半導体”というイメージはなくなりつつあります。

こういう環境に関するイベントに参加される方は「同伴する親が環境科学に関する関心が高いので、子ども興味を持つのだな」といつも感心させられます。

久々の科学館の開催とあって、入場者数も多かったようです。

実施写真等

